

海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

1 シデコブシの保護

海上の森のシデコブシは、周辺樹木の生育が進んだことにより日照不足となるなど、開花や結実が行われにくくなり、その生育が懸念されていた。

そこで、平成 19 年度から一部区域（屋戸川・寺山川野生動植物保護地区）において、試験的に除間伐を実施し、その効果について検証している。（名古屋大学へ調査委託）

今年度で調査を終了し、これまでの検証結果等に基づき、シデコブシの保護に役立つ小冊子を作成する予定である。

2 スミレサイシンの保護

スミレサイシンの生育地（四ツ沢北東部野生動植物保護地区）において、平成 21 年度に二次林内に侵入し、荒れた竹林について、除伐等を行ったが、その結果、日照が良くなり、チヂミザサ等の雑草が繁茂してしまった。

このため、平成 22 年度から海上の森の会と協働して除草作業を行っている（直近では 2011 年 9 月 29 日に実施）。

今後も経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。

3 湿地の保全

屋戸川流域の湿地について、遷移が進み、貧栄養湿地としての特性が失われるおそれがあったため、海上の森の会と協働してアシやヌマガヤなどの枯れ草を除去している（次回 2011 年 12 月に実施予定）。

今後も経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。

